

■まちづくりマスタープランの4つの基本方針

日野の記憶と文化を伝える

- 1) 日野の気候風土の産物である自然環境の保全と継承
 - ・多摩丘陵や崖線の樹林地、湧水、水田や用水、そして多摩川や浅川など、水と緑の自然環境を次世代に継承する
- 2) 生活の履歴である歴史・文化資源の保全と継承
 - ・甲州街道の街道筋や高幡不動など、先人たちの暮らしを感じ取れる歴史・文化資源をまちづくりに活かす

日野の暮らしの舞台を支える

- 1) 将来も変わることなく住み続けられるまちづくりを進める
 - ・超高齢社会の中、すべての人が安心して健康でいきいきと暮らせるコンパクトな生活空間を形成する
- 2) 多彩な市民の交流と連携を生み出す交通環境の整備
 - ・それぞれの生活圏相互の往来をしやすくし、市民の多様な活動をつなぐ交通環境を整備する

日野の人々が活発に活動する

- 1) 買い物や生活利便性など日々の暮らしの価値を高める
 - ・日野、豊田、高幡不動の3拠点への都市機能の集積や、交流や生活拠点として相互の連携を強化し、日々の暮らしの利便性を高める
- 2) 日野を支えてきた産業とともに、新たな産業を創出し活力ある都市をつくる
 - ・既存の企業との連携により産業と住環境の調和したまちづくりを推進するとともに、医療・福祉・教育など、住宅都市のニーズに応える新たな都市型産業を創出する

まちづくりを支える仕組み

時代と社会のニーズの変化の中、市民一人ひとりが日野を良くしていこうと思えるようなまちづくりを実現するため、まちづくり条例等の仕組みを活用していく

■将来の都市空間の構造図（20年後の日野のすがた）

